

## 実質化された人・農地プラン

〔注:本様式は参考ですので、地域の話合いの結果に応じて、積極的に記載する項目を追加してください。〕

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
有田川町	石垣地区 (吉原、糸川、修理川、宇井苔、松原、歓喜寺)	2022/3/30	

## 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	223ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	117ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	45ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	22ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.02ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	9ha
(備考)2号遊休農地無し	

## 2 対象地区の課題

人口減少に伴い農業の担い手も少なく、5年後には70歳以上で後継者未定農地が地区の耕地面積117haのうち36ha(約30.9%)になる。地域の大半が山に面しているため、鳥獣害被害が深刻化している。

## 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

地域内すべての農地を維持することは極めて難しいため、その中でも価値の高い集团的農地を維持していく。

## 4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

農地の貸付け等の意向  
貸付け等の意向が確認された農地は、6,761㎡となっている。

既存の担い手がカバーし得る農地には限りがあるため、あらたな就農者の確保が急務となる。数少ない農業法人が存在する地域である強みを活かし、就農希望者の受け入れや育成を法人や個人農家が連携して行っていく。